

「中学生のためのデジタル・シティズンシップ」 教師用指導資料と活用・活動事例

はじめに

GIGASchool構想により生徒が1人1台のパソコンやタブレットを用いた授業が行われるようになった今日、「デジタル技術をどうすればうまく使いこなすことができるのか、危険やトラブルをどうやったら回避できるのか」といったことは、ますます重要視されています。この映像教材を授業でご活用いただく先生方は、以下に紹介するような教科の内容をもとに視聴の前後にグループでの話し合いやワークシートの記入、全体で意見を発表しあうなどの活動を通して、生徒が「自分のこととして」考え、情報社会に参画する態度を持つ生徒の育成に結びつけてください。（紙のワークシートだけでなく、「一人1台」のデジタル機器を活用した話し合い、発表などもぜひ取り組んでいただければと思います）

また、学校での生徒の学習活動以外に、学期ごとの保護者会などでのご活用もいただけます。生徒がスマートフォンやタブレット、パソコンで動画見てばかりな様子や、何か悪質なサイトにアクセスしてトラブルにならないかなどを心配している保護者は少なくありません。スマートフォン、タブレット、パソコンは今や生活に不可欠な道具であることを再認識しながら、「〇〇をやってはだめ」ではなく、デジタル技術とどのように積極的に付き合っていくのか（自身をアップデートさせることの大切さ）などを、一緒に学ぶ機会の題材にもできます。

最後に、すべてのチャプターのすべてのワークを網羅するのではなく、特定のチャプターのみで学習するなど、ご指導になる生徒や学校の特性にあわせてご活用をいただければ幸いです。

「導入」（はじめに）部分の映像の活用の仕方

教科 総合的な学習の時間、特別活動（学級活動や東京都のセーフティ教室など）、道徳科、社会科など
道徳の内容項目：公正、公正、社会正義

活用・活動例 特に特別活動や道徳科では、SNSの利用に関する指導や学校のタブレットの使用に関する指導で活用することができます。全体を通して考える教材としての価値がありますので、道徳の内容項目に合わせてもご使用いただけます。

視聴前に、1人1台パソコン・タブレットを授業で使用するようになったことなどを例に挙げ、「デジタル機器を使ってどんなことをして、どんなよい点があるか」などを見童に問いかけ、私たちが生きる現代社会は、もはやデジタル機器やインターネットを抜きにしては成り立たなくなっていることを確認しておく。

「デジタル・シティズンシップ」(Digital Citizenship) について

「情報モラル教育」に置き換わるものというとらえ方をされる向きもあるが、「情報社会に参画する態度の「育成」従前から言われてきたことである。「情報社会に参画する」という少し難しい表現かもしれないが、「情報社会に参画する（参加する・加わって活動する）」というキーワードは、板書やPPTで表示するなどして生徒に意識付けたい。

※「導入」（はじめに）は「全編再生」のボタンを押すと始まりの部分で見ることができます。

コミュニケーション ～オンライン上での情報交換～

教科 特別活動、道徳科、保健指導（睡眠、栄養、リラックス）など
道徳の内容項目：節度、節制

活用・活動例 特別活動や道徳科では、他者との顔が見えない状態でのやり取りについて前向きな活用方法を考える教材として活用いただけます。また保健指導では、人間関係を築き、心の健康を保つためのコミュニケーションツールとしてどう活用していくか考える材料になります。

各自でワークシート記入

ワークシート課題1

メールやLINEなど毎日オンラインのコミュニケーションを使っていますか。それは、どんな場面で、どんなよい点がありますか？

→個人で記入後に、発表など

※メリットを確認する問いを最初に設けました。いきなりネガティブ質問は、恐怖心を受け付けてしまうため、デジタルツールの前向きに活用する姿勢を確認させたい。

ワークシート課題2

映像のようにスタンプの連打や相談したいことにスタンプ1つで返されたりして困ったこと以外にどんなことがありますか。スタンプの上手な活用方法を考えながら書いてみましょう。

→グループで話し合いの後、何グループかに発表させて学級内で共有

※漠然と浮かんだ状況を考えるのではなく、まずは、映像の場面を基に考える問いにしています。皆で同じ場面を考えるように設定しています。これ以外でも、先生方の気になるシーンや考えさせたいシーンを具体的に取り上げて実践をいただければと思います。

※※この前の映像をよく見ると「かわいくない」に反応した「え、あなたの髪型のほうがきもいんだけど」の意味のメッセージは「え、あなたの髪型のほうがきもんだけど」になって「い」が抜けてしまっています。SNSなどでメッセージに対してカッとなって返信すると、入力間違いをしてしまったり、逆にその入力間違いの文章で誤解を重ねてしまったりすることにもつながります。SNSでのやりとりで「メッセージをもらったら、すぐに返信しなければ…」と感じている生徒は少なくありません。一度書いたメッセージを落ち着いて読み返し、確認してから送るなどの大切さについてもご指導ください。

映像視聴後

ワークシート課題3

写真を無断で使うことはなぜいけないのか、みんなで話し合っけて記入してみましょう。また無断で使っけてはいけない他人の作ったものにはどんなものがありますか。書いてみましょう。

→発表させて学級内で共有

※課題1での気づき、課題2で同じ映像を見て皆で考えたのち、課題3では本チャプターでの学びを踏まえて、今後のオンライン上での情報交換に対してどのような行動をすべきなのか、自分の日常の課題に落とし込み、考えていくきっかけに気づくことをねらいとしています。

基本的にすべてのチャプターを通して、このような授業構成を想定しています。

メディアリテラシーと生成 AI ～情報に対する適切な判断と活用～

教科 国語科、総合的な学習の時間、特別活動(学級活動や東京都のセーフティー教室など)、社会科、理科等

活用・活動例 各教科で調べ学習をする際の導入で活用することができます。情報の選択、情報源の開示、情報に対する自分の意見を正しく判断するための知識や技能を教えることができます。

例えば、国語科では「【B】書くこと」に関連付け、情報を収集する対象や手段としてインターネットを取りあげて、集めた材料の相互の関係などを考察する材料にできます。また、社会科では公民的分野での関連のある資料を様々な情報手段を効果的に活用して収集し、かつ考察に必要な情報を合理的な基準で選択し分析する能力を養うことに結びつけて展開できます。

ワークシート課題 1

調べ学習や発表学習などをするとき、インターネットを使って情報を検索することがありますが、たくさんの情報の中からみなさんはどのように情報を判断して、自分の発表資料に取り入れていますか？

→各自でワークシートに記入し、発表させる

例)「検索で上位にくるもの?」「NHK や新聞社とか、公的機関の情報とか?」…

誰が発信しているか(情報源を調べる)を明らかにすることが重要です。

ほかの情報源からの情報と比較(情報が発信される時には複数の人から出ていることが多いので比較)などの意見が出て、必ずしもすべての情報が「正しい」とは限らないことを確認し、同時に、一つの情報だけに頼ってはいけないということも確認させたい。

ワークシート課題 2

AIで作られた画像、文章について正しいかどうかを判断するには、あなたはどんな方法を試したらよいと思いますか。話し合っ、出てきた意見を書きましょう。

→各自でワークシートに記入し、グループ等で発表させる

※AIで作られたものかを判定するソフトやアプリもありますが、以下のような特徴で判断することも必要になります。

文章の場合は無難で表面的な内容であり、誰でも言えるような一般論になっている。具体例や経験に基づく内容が少なく、同じ語のくり返しが多い。

画像では、画像の全体が不自然にくっきりしすぎている。鮮やかすぎる画像である。建物の線など、まっすぐな線が微妙に曲がっていたりします。人の顔など左右対称になっていないことなどもあります。

映像視聴後

ワークシート課題 3

生成 AI を部活動に活用していることについて、あなたの感想や気づいたことなどをまとめてみましょう。

→各自ワークシートに記入しながら、グループごとに発表など

※どのチャプターでも、基本的に同一のシーンについて学級全体で考える設問を設けています

ワークシート課題 4

ChatGPT をどのように活用すると、良いことがありますか。個人的に生活で役に立つことと授業などのみんなで役に立つことに分けて考えてください。

→グループ内で話し合い、話し合ったことを「生活で役に立つこと(個人的)」「授業で役に立つこと(社会的集団)」にわけて発表

生徒ならではのアイデアを、ぜひたくさん引き出したい。

※ web などでの情報収集について、以下の内容を話してみるのもよいと思われます。

(参考)「フィルターバブル」

検索を重ねるなどしていると、自分の興味関心に合った情報が簡単に手に入るため、逆にそうでない情報が入ってきにくくなる。これは「フィルターバブル」と呼ばれる。

(参考) エコーチェンバー

SNS で同じ考えの人同士がつながると、目にする情報が偏ってしまいがちになってしまう。こうした閉鎖的な空間は「エコーチェンバー」と呼ばれ、中に入ると、誤った情報でも信じ込みやすくなる危険がある。

著作権 ～動画や音楽の著作物の扱い方～

教科 総合的な学習の時間、特別活動（学級活動や東京都のセーフティー教室など）、
国語科、社会科、美術科、音楽科（創作に関する教科での活用）など
道徳の内容項目：遵法精神、公德心

活用・活動例 各教科の導入で著作権についての知識技能を身につけさせるための教材として活用することができます。国語科では作文などを書く際の文章の引用・出展の明記など、社会科では「法律」との関連、美術科では美術作品の鑑賞、音楽科では音楽著作権（例えば歌唱であれば歌う人の権利、演奏している人の権利、CD や配信にして販売するレコード会社の権利などさまざまな「権利」があることなど）の学習に結び付ける“導入”の題材になります。

著作権については、態度やルール・マナーに関係するというよりは、「駄目なものはダメ」（法律で禁止されている）という意識を持たせることが重要です。例えば、以下のような画像を提示し、著作権に関する発問を3問以下に記載しているので、グループごとに話し合い・答えを出し合ってから動画の視聴に進んでも良い。なお、いずれも、使用者側・著作権者側の両方の視点から、違反を見分けるだけでなく、どうして違反なのか、その上でどのように行動を起こしたいかを考えさせる機会としたい。

〈著作権クイズ!〉

第1問（※指導する先生の質問例と回答例を記載しています）

SNS でおもしろい話題を発見。大勢の人に紹介したいので、文章をコピーして自分の SNS に掲載した。この行動についてどう思いますか？あなたなら、どのように行動しますか？また、その理由も書いてください。



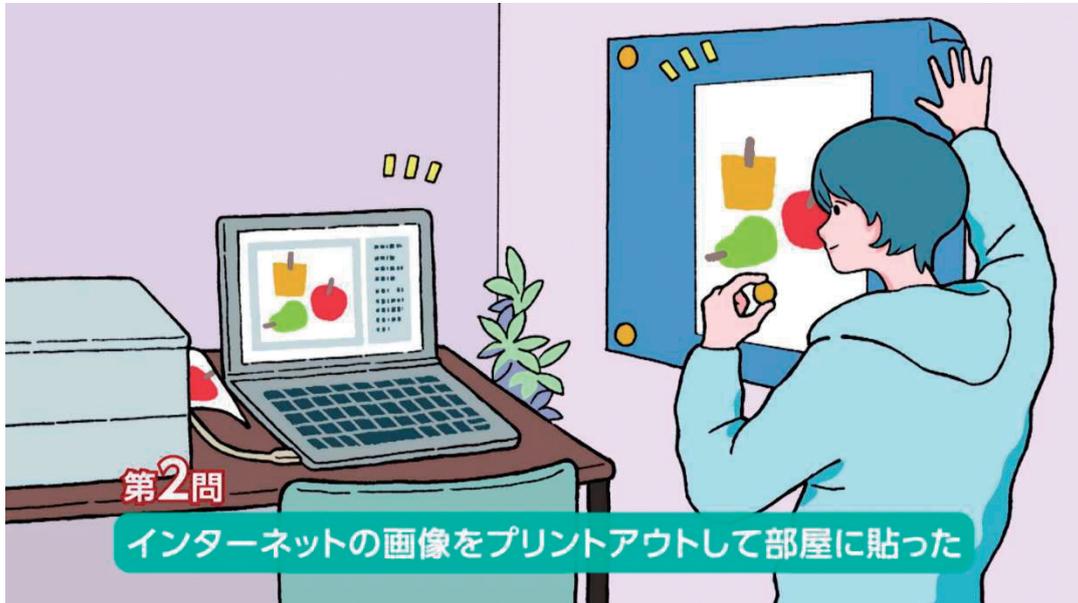
(いろいろな意見が出た後に)

これは違反です。本人にはまったく悪気がなくても、他人が作った文章やイラストは、著作者の許可なく利用することはできません。

第2問

インターネットで見つけた画像を、プリンターで大きく印刷して自分の部屋にはった。

この行動についてどう思いますか？あなたなら、どのように行動しますか？また、その理由も書いてください。



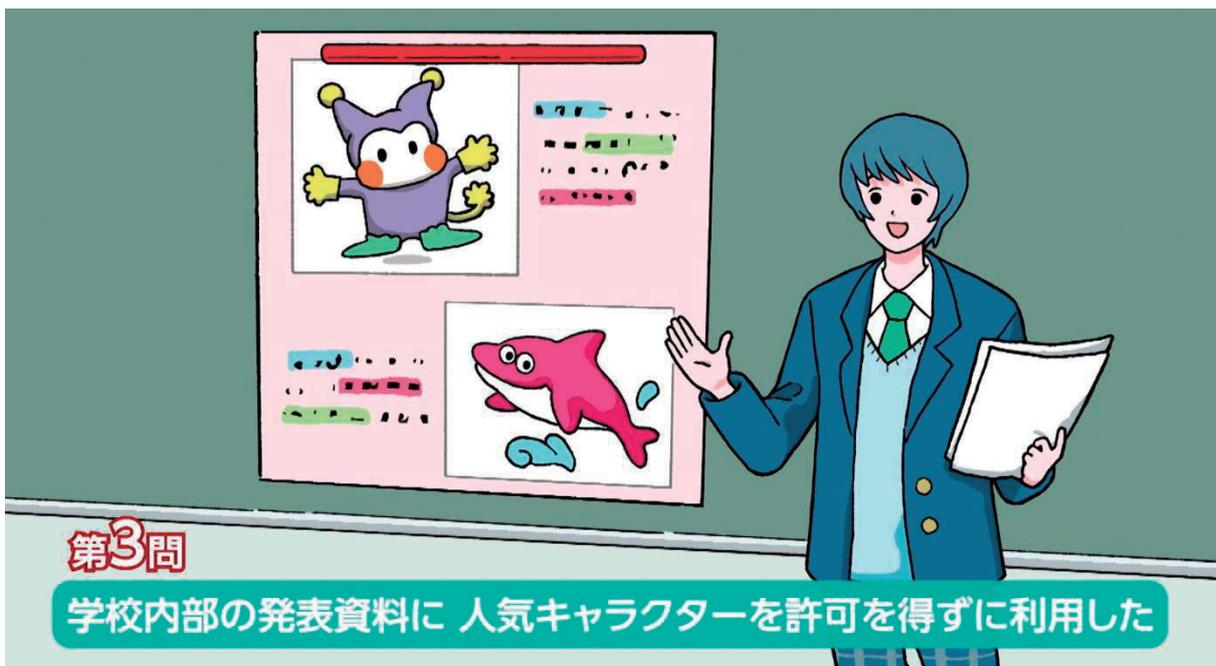
(様々な意見が出た後に)

著作権法には、個人的な利用であればコピーしても良い、という例外（除外）規定があります。

第3問

学校の授業での発表資料に、人気キャラクターを許可をえないでに利用した。

この行動についてどう思いますか？あなたなら、どのように行動しますか？また、その理由も書いてください。



(様々な意見が出た後に)

これは、セーフです。授業や学校行事の中では、先生や生徒が必要な場合に著作物を複製することは認められています。

〈学校行事で著作物を利用することについての補足〉

「除外規定」について

(著作権法 38 条 (営利を目的としない上映など)・著作権法 35 条 (教育機関の授業目的利用など))

著作物を利用するには、著作権者から許可を得るのが原則である。しかし、著作権法は、ある一定の条件を満たす場合には、著作物を自由に利用することができることを定めている。

学校の先生及び児童・生徒は、授業の過程で著作物を利用することを目的とする場合には、著作権者の利用許諾を得ることなく、著作物を複製したり、インターネット配信、放送を行ったりすることができます。

また、営利を目的とせず、聴衆や観衆から料金を受け取らず、上演・演奏などをする者に報酬を支払わない場合は、著作物を公に上演・演奏・上映などすることができる。

このため、例えば学芸会 (学習発表会) などで演劇を上演する場合には、この条件をすべて満たしていれば著作権者の利用許諾を得ることは不要である。また、小・中・高等学校の学芸会 (学習発表会)・文化祭は授業と位置づけられているので、著作物を複製することも利用許諾は不要。

ただし、公衆送信を行う場合には、遠隔授業のための同時配信の場合を除いて、教育機関の設置者が著作権者へ補償金を支払うことになっている。

ワークシート課題 1

自分のパソコンのアイコンに他人の作ったお気に入りのキャラクターを使っている人がいます。

あなたはどう思いますか？

→各自記入して・発表

※キャラクター芸能人などの写真をアイコンに使用する場合、個人で使うパソコンの壁紙などに設定する場合には問題ないことがほとんどですが、多くの人目に触れる SNS のアイコンなどに使用すると著作権侵害の可能性のあることに触れておきたい。

ワークシート課題 2

映像を見て著作権についてわかったことをまとめましょう。

→各自で記入

ワークシート課題 3

あなたは今後、情報を発信する時どんなことに気をつけますか？ 著作物を使用する上で気をつけたい点は何か、また、自分が著作物をつくる側 (がわ) になるとしたら、どのように著作物を扱ってほしいか、考えをまとめてみましょう。

→各自で双方の立場からの考えをまとめさせ、グループ内で共有後、発表させ学級内でも共有したい。

健康的なデジタル機器の使用

教科 特別活動（学級活動・セーフティー教室など）、家庭科、道徳科、保健指導
道徳の内容項目：節度、節制

活用・活動例 特に家庭科の生活時間についての学習では、生活習慣と健康について理解を深めたり、話し合ったりする題材として活用することができます。道徳科や保健指導では、特に健康的な生活行動の習慣化の指導と関連付け、たとえ現在生活リズムが乱れがちである生徒たちにとっても、ポイントを見つけて自ら行動を変容しようとするのが改善していくことのきっかけになるという、「気づき」を促すことができます。

ワークシート課題1

あなたは平日や土日にどんなことに何時間くらい、スマートフォンやパソコンを使っていますか。また、中学生は1日平均で1日何時間くらいスマートフォンやパソコンを使っていると思いますか？またどんなことに使っていると思いますか？

→各自で記入した後、グループで話し合っってタブレットなどに記入し、発表させる

※各自の使用実態を確認する機会にしたいのと同時に、内閣府が調査結果によると、2022年度平日1日当たりの平均利用時間は、10歳以上の小学生3時間34分、中学生4時間37分、高校生5時間45分に上り、いずれも過去最長となっていることを紹介したい。

映像視聴後

ワークシート課題2

スマートフォンやパソコンでSNSやゲームを自分にとって最適な利用方法、利用時間を考えてみましょう。どんなことに、どれくらいの利用時間だと、他にやらないといけない大事なこと（食事、睡眠、入浴、学習など）をおろそかにせず、健康的な生活を送ることができるのでしょうか。理由も考えてみましょう。

→各自でワークシートに記入しながら自分の今後の課題を認識させたい。

ワークシート課題3

映像を参考にして、自分の健康と情報機器の利用とのバランスをとるために、取り入れたいと思ったことは何ですか？理由も考えてみましょう。

例)「寝る部屋と別の場所に置いておく」

「使う時間を決めて使う」

「スマホの使用時間などのツールで使用時間を確認する」など

→グループで意見を出しあった後、発表

ネットでの売り買いについて

教科 特別活動（学級活動や東京都のセーフティ教室など）、道徳科、家庭科、社会科、理科など
道徳の内容項目：礼儀、相互理解、寛容

活用・活動例 道徳科や家庭科では、ネットショッピングやその弊害を例にとり話し合いの題材として視聴することで、正しい判断を養う学習で活用することができます。社会科では、科学技術・情報技術の発達により、いつでもどこでも選んで購入して配達までしてくれるようになる、また、実際の通貨・紙幣ではない支払いができるようになっている現代の生活と結びつけて、“買い物”（産業の在り方）の変化を知ることにもつながります。

映像視聴前

ワークシート課題1

電子マネーやスマートフォンによるキャッシュレス決済で使ったことがある、もしくは知っているものをあげてください。また、ネットショッピングに対してどんな印象を持っていますか？

→各自で知っているものをあげ、「現金」以外を使う機会が非常に多くなっていることに気づかせたい。

映像視聴後

ワークシート課題2

あなたは、ライブ配信でお金を稼いでいる演奏家、ライバーを見たいですか。何人かの人と話し合ってみて、見たい場合と見たくない場合に分けるなどして、その理由をまとめてみましょう。

→ワークシートに記入したのち、グループなどで話し合い、見たい場合、見たくない場合の理由をそれぞれ発表させたい

ワークシート課題3

ネット上での売り買い、SNSでの取引についてあなたはどのように考えていますか。
良い点と課題になる点に分けて書いて、話し合ってみましょう。

→ネット上での売り買い、SNSでの取引の良い点（全般に価格が安い、即時性、距離を問わないなど）と課題になる点（買いすぎ、必要のないものまで買う、実物と違う、売り手が見えない）をはっきりさせて、多様な意見を共有したい。

個人情報とセキュリティ

教科 総合的な学習の時間、特別活動（学級活動や東京都のセーフティ教室など）、各教科での学年冒頭でタブレット・PCを使用する際など
道徳の内容項目：自主、自立、自由と責任

活用・活動例 特別活動の SNS 利用やタブレットの使用方法について学習する際に、視聴覚教材として活用することができます。また、どの教科においても年度初めの最初のタブレットや PC を使用する際に、映像中の大人の社会での事例を通して、パスワードなどが漏れてしまうと大きなトラブルになってしまうことを認識させ、各自に与えられている ID やパスワードを他人に教えないことを「約束」「きまり」として提示する資料にできます。

映像視聴前

ワークシート課題 1

身の回りのどんなところに ID やパスワードが使われているのでしょうか

→この設問を通して、ID やパスワードがなぜ使われているのかまで考えさせたい

映像視聴後

ワークシート課題 2

映像では、ID やパスワードなどの個人情報がもれると、見知らぬ人による不正アクセスが起こったり、勝手にお金が引き落とされたりすることが紹介されていました。ID やパスワードがもれないようにするためには、どのようなこと気をつけていく必要があるか、考えてみましょう。

→各自記入して発表

例)「大文字と小文字、英語と数字をまぜる」
「定期的にパスワードを変える」
「パスワードをパソコンなどに貼っておかない」

ワークシート課題 3

映像を見て、今の自分の状況を振り返り、今後自分を守るために、どんな動をしていきたいか友だちと話し合い、考えたことをまとめてみましょう。

→グループで話し合いながら、できるだけ具体的な回答をワークシートに記入し、最後に発表させる

デジタル・シティズンシップのまとめ ～地域の社会的課題をIT活用をして解決～ 「中学生のためのデジタル・シティズンシップ」 全体を見て学習したことをふり返ってまとめてみよう

「デジタル・シティズンシップ」について学習してきたが…

ワークシート課題

● デジタル技術を活用して、地域や社会の課題を解決する例を調べてみよう。

例：徘徊する老人をGPSを利用して居場所を知らせる。

● 調べたことをもとに、生活が便利になる技術の使い方やデジタル技術を、また今ある技術に付け加えるとより便利になることがあれば、書き出してみてください。

→各自で自由に記入

映像の最後のナレーションにある「常に新しい情報を積極的に取り入れること」「新しい知識を学ぶ姿勢」板書するなどして強調してまとめとしたい。